

# 岡山の公民館

No.62

令和4年3月 編集発行 岡山県公民館連合会

〒700-0016 岡山市北区伊島町3-1-1 岡山県生涯学習センター内

電話 086-251-9751 FAX 086-251-9757

ホームページ 【<http://www.pal.pref.okayama.jp/kenkouren/>】



## 令和4年度 主な行事予定

- 令和4年度岡山県公民館連合会総会・研修会  
期日：令和4年5月19日(木)  
場所：岡山県生涯学習センター 大研修室 他
- 第44回全国公民館研究集会岡山県大会 兼  
第44回中国・四国地区公民館研究集会岡山大会  
期日：令和4年10月20日(木)・21日(金)  
場所：岡山シンフォニーホール 他

## 美作ブロック



真庭市八束公民館

「味噌と納豆を手作りしてみませんか教室」

## 備前ブロック



吉備中央町御北公民館

「親子で学ぶ 命を救う講習会

～ペットボトルde心肺蘇生～」

## 備中ブロック



早島町中央公民館

「世界を見ようDAY」

## 公民館記章



このシンボルマークは、公民館の「公」の字を図案化し、しかも、全体の形を「館」になぞらえたものである。

昭和53年 4月1日 制定  
昭和35年10月1日 適及適用

## Index

|  |     |
|--|-----|
| 各ブロックから・主な行事予定   | 1   |
| 挨拶・令和3年度表彰   | 2   |
| 令和3年度岡山県公民館連合会事業   | 3   |
| 第5回公民館職員が選ぶ！講座アワード   | 4、5 |
| 市町村出前講座事業・第33回全国公民館セミナー<br>「第44回全国公民館研究集会岡山県大会 兼<br>第44回中国・四国地区公民館研究集会岡山大会」のお知らせ | 6   |
| 公民館 ひと・ひと・グループ   | 7   |
| まちから むらから フォトレター   | 8   |

## 「岡山県公民館連合会事務局の取組」



岡山県公民館連合会副会長（岡山県生涯学習センター所長） 小見山 晃

本年度も、新型コロナウイルス感染症で始まり、終わった1年であったかと思えます。その影響で、各公民館におかれては、閉館を余儀なくされたり、開館していても地域の方の来館が芳しくなかったりと、随分と歯がゆい思いをされたことと拝察いたします。

私ども事務局が開催しました5回の研修会も、本来は参集で行う予定のものをオンラインに切り替えて実施するなど、皆様方には大変ご迷惑をおかけしたところです。しかしながらオンラインとしたことで、今までは遠方や多忙のため参加しづらかった方々の参加があったなど、メリットもありました。事務局では、コロナ禍の中、何ができるかと、試行錯誤を行いながら業務に取り組んでまいりました。第3回研修会では、Zoomを使用したオンライン体験講座を実施し、公民館等の取組で活用できる演習を行いました。また、本年度から「公民館職員のための事業計画ハンドブック」を使用し、各地域の実態に応じた研修等を、出前講座として実施することで、参加しやすい環境づくりにも努めてきたところです。このような取組を通じ、引き続き皆様方の資質・能力の向上を目指すとともに、つながりづくりも行ってまいりますので、多くの方々の研修参加を期待します。

さて、今年の10月には、「第44回全国公民館研究集会岡山県大会 兼 第44回中国・四国地区公民館研究集会岡山大会」を開催します。テーマは、「地域の『夢』を育む公民館活動」です。公民館は、地域住民の「こういう地域にしたい」「こういう地域でありたい」という想いや願いの実現に向け、地域住民による主体的な地域づくりを支援することで、持続的に発展する「人づくり・つながりづくり・地域づくり」へと、つなぐことのできる施設です。本大会では、中国・四国地区の公民館関係者をはじめ、生涯学習・社会教育関係者が一堂に会し、地域の「夢」を育てていくこれからの公民館活動の在り方について研究協議を行います。中国・四国地区から参加される方々にとって有意義な大会とするためにも、皆様方のお力添えのほどお願い申し上げます。

## 輝く令和3年度 受賞

### 文部科学大臣表彰 優良公民館

#### ○真庭市北房公民館（北房文化センター）

北房公民館は、文化センターの機能を有した生涯学習を支援する施設として、地域住民に親しまれている。

特に平成30年度から、地域の歴史資源である古墳に焦点を当て、北房の歴史や文化を後世に伝える公民館活動「まに大附属ふるさと研究所」を実施。北房公民館を中心に地域、大学、教育委員会の連携協力のもと、地域住民が地域の歴史や文化遺産に関する知識を深めながら、伝えていく活動を行っている。真庭市内最古級の「荒木山東塚・西塚古墳」を最先端技術で探査調査をし、その成果を地域住民に報告したり、歴史遺産の保護・保存・活用のために、歴史資料館（北房ふるさとセンター）の展示リニューアルを行ったりした。地域の文化歴史資源を活用した地域おこしや郷土愛の醸成「郷育」につながる現代的課題に対応した地域住民の学習の場となっている。

また、北房公民館共催で放課後子ども教室推進事業「北房てらこや教室」を行っており、学習や習字教室、自然体験教室、科学教室など、多種多様な体験学習活動を提供している。地域住民や文化協会、各種グループと協力しながら、地域ぐるみで子どもたちの育成と安心安全な生活づくりに取り組んでいる。

#### ○浅口市中央公民館

浅口市中央公民館は、地域の交流の拠点として、人づくり、地域づくりの役割を果たしている。公民館と学校・地域が協働して開催する、市内小学生を対象にした「夏GAKUサブリ」では、夏休みの4日間、地域の中高生や企業、ボランティアグループがそれぞれプログラミング体験教室や科学教室など多様な教室を開講し、子どもたちに普段体験できない学習機会を提供するもので、自他との関わりを通して生きる力を育てている。

また、同館の主催で、世代を超えて体力と健康の増進、地域の親睦や交流を図ることを目的に開催する市民体育祭鴨方大会は、毎年3,000人の参加があり、地域最大の行事となるなど、スポーツを通じた地域コミュニティの形成にも努めている。

### 全国公民館連合会表彰（4名）

【永年勤続職員表彰】 下市 瞳（岡山市立富山公民館 公民館主事） 細川 由起（岡山市立岡西公民館 主任）  
 在間 洋則（総社市中央公民館池田分館 分館長） 粒田 美和子（吉備中央町豊野公民館 主事）

### 岡山県公民館連合会表彰（25名）

【優良職員表彰】 窪 和男（岡山市立建部町公民館 主査） 植山 明美（岡山市立旭公民館 副主査）  
 安原 裕子（前 倉敷市教育委員会市民学習センター 主幹） 八木 謙一（倉敷市教育委員会市民学習センター 主幹）  
 永下 章（倉敷市児島公民館 主任） 土井 正彦（前 玉野市立田井公民館 館長）  
 米田 一馬（前 玉野市立玉公民館 館長、前 玉野市立玉公民館奥玉分館 館長） 南 晴之（玉野市立日比公民館 館長）  
 渡邊 まり子（前 玉野市立荘内公民館 館長） 三宅 信治（前 玉野市立山田公民館 館長）  
 井上 宗男（前 玉野市立東児公民館 館長、前 玉野市立鋒立公民館 館長） 小寺 勝（笠岡市今井公民館 館長）  
 田片 成美（笠岡市金浦公民館 主事） 藤井 仁恵（笠岡市吉田公民館 館長）  
 数田 里美（笠岡市高島公民館 主事） 板野 彰（総社市清音公民館 次長）  
 中原 静枝（備前市立中央公民館 館長補佐） 石原 真由美（備前市立香登公民館 主事）  
 小川 道代（備前市立伊部公民館 館長） 横山 アヤ子（矢掛町矢掛公民館 主事）  
 笹井 美帆子（矢掛町山田公民館 前主事） 池田 かおり（矢掛町山田公民館 前主事補）  
 土井 重光（矢掛町小田公民館 前館長） 片岡 幸政（岡山県公民館連合会 前理事）  
 竹内 祐三（岡山県公民館連合会 前理事）

（敬称略・順不同）

## 令和3年度 岡山県公民館連合会事業

### 理事会・総会

※新型コロナウイルス感染予防のため、書面会議により開催

- 【内容】 ○令和2年度事業報告・決算報告及び監査報告  
○令和3年度事業計画（案）及び予算（案） 他

### 第1回研修会

開催日／令和3年5月13日(木) オンライン開催

- 【内容】 ○講義「社会をつなげる公民館へ  
ー人生100年、AI、そしてポスト・コロナの時代の社会を考えるー」  
講師 東京大学大学院教育学研究科 教授 牧野 篤 氏  
これからの社会における社会教育を基盤とした人づくり・つながりづくり・地域づくりの大切さについて、具体例を織り交ぜながら御教示いただきました。



### 第2回研修会

テーマ「受賞講座から学ぶ『おすすめ講座』づくり～地域の『夢』を育む公民館活動を目指して～」

開催日／令和3年6月29日(火) オンライン開催

- 【内容】 ○事例発表「未来商店街」久米南町中央公民館  
「村民が生きるを楽しむための『村民講師イベント・ワークショップ』」 あわくら会館  
○講義・演習「地域の『夢』を育む『おすすめ講座』づくり」  
講師 岡山大学大学院教育学研究科 教授 熊谷愼之輔 氏  
事例発表では、令和2年度「第4回公民館職員が選ぶ！講座アワード」準グランプリ、グランプリの取組を御紹介いただきました。



### 第3回研修会

テーマ「『夢』をひろげる・『夢』がひろがるオンライン体験講座」

開催日／令和3年10月29日(金) 場所／岡山県生涯学習センター

- 【内容】 ○演習「『夢』がひろがるオンライン体験講座」  
○演習「『夢』をひろげるオンライン活用方法」  
「Zoom」を使用したオンライン（同時双方向型）による講座の受講や運営等を体験し、その活用方法を学び、自館の取組への活用を考えました。



### 第4回研修会

テーマ「地域の『夢』を育む公民館の役割と可能性」

開催日／令和3年8月17日(火) オンライン開催

- 【内容】 ○講義「公民館における人づくり・つながりづくり・地域づくり」  
講師 青山学院大学教育人間科学部教育学科 教授 山本 珠美 氏  
○演習「たしかめよう！わたしの公民館」  
講義では、公民館の起源から現在の公民館の役割、地域課題解決の取組まで、事例を交えながら話をしていただき、演習では、自館の公民館活動について整理し、グループで意見交換をしました。



### 第5回研修会

テーマ「岡山県大会に向けて～各館の公民館活動をふり返る～」

開催日／令和4年1月25日(火) オンライン開催

- 【内容】 ○県公連取材レポート  
○実践報告「鬼面づくり講座」 倉敷市茶屋町公民館  
「庭瀬かいわい案内人」 岡山市立吉備公民館  
○実践報告&情報交換会  
○講評 岡山大学大学院教育学研究科 教授 熊谷愼之輔 氏  
○第5回「公民館職員が選ぶ！講座アワード」表彰式  
詳細は、P4・5



県公連事務局が取材したレポート、代表2館の実践報告に続けて、令和3年度の自館の取組について実践報告や情報交換を行いました。最後に、第5回「公民館職員が選ぶ！講座アワード」のグランプリ・準グランプリ・3位の発表と表彰を行いました。





## 「お花の銀行 ボランティア育成プロジェクト」

岡山市立東公民館 (19票)



**岡山市立東公民館**

## \*お花の銀行\*

ボランティア育成プロジェクト

**おねらい**

- 新型コロナウイルスの影響により、主催者が次々中止になり公民館で活動することができなかつたので、「自宅でできる公民館ボランティア」、「はなれて つながる こみんかん」というコンセプトでボランティアプロジェクトを企画・実行した。
- コロナ禍で引きこもりがちな地域の高齢者を中心に、園芸を通じて公民館活動に参加を促すと同時に地域の緑化推進のきっかけとする。

**主なやり方としては**

- ① 参加者にお花育成セット（花の種や種、種・植木鉢1つ・1鉢分の園芸土）を贈る。セットを贈り自宅育てて、花が咲くころになったらまた公民館へもってきてもらう。
- ② もし花が咲かなくても種木鉢を返していただくだけで大丈夫。
- ③ 花の種や種、種があまったら自宅の庭やプランターに植えて楽しんでもらう。

**第1回は**三つむしわり、園芸セットで園芸で育てています。季節を改めて3集お返ししました。

**第2回は**スイセンと7色の花、種からの挑戦です。

**第3回は**花の種4種から選んでお返ししました。種木鉢に入らなかった種を地域の公民館で育てて、またの機会に園芸セットを返す予定です。

**第4回は**クリスマス、お返しにクリスマス。

**◎これまでとこれから**

- 公民館の玄関と見立つ場所に花を写真のように並べたところ、大変好評で、目を惹かれる方が増えている。
- 参加者が楽しんだときには、自身の成果ややりがいを改めて感じ、一緒に楽しんだ人とは話している。
- このプロジェクトは令和2年度から行っているが、今年度もコロナ禍で中止になる講座が多く、こういったコロナに左右されない事業ができてよかったと感じている。
- 時間を有効に活用しており、1年に2回のペースで開催している。（第1回、第2回は令和2年度、第3回、第4回は今年度開催。）
- ボランティア募集を、公民館に掲載するなどしたところ、園芸に興味のある新たな公民館利用者やボランティア層の増加に繋がった。
- ボランティアの参加者を定員以上に拡大し、得意な園芸などにすれば、フードバンクに活用することも可能ではないかという評価もあったので、そういったことも今後視野に入れていきたいと考えている。

### 投票理由

- コロナ禍でも、自宅で花を育てることで、それを見る人の笑顔を思い浮かべ、つながりを感じることでできるすばらしい取組だと思えます。また、小さなことでも、公の場である公民館の美化に役立っているという自己有用感をもつことができるのもよいと思えます。
- コロナ禍で公民館に集まることなく出来る活動で、お花を育てた方、また公民館で見た両方が、笑顔になれる活動のようで、いいなと思いました。これから先、コロナの感染がどのようになるかわかりませんが、うちの公民館でもやってみたいと思いました。
- コロナ禍や地域住民の高齢化が進み、引きこもり課題は大きな問題となっています。高齢者にとって負担感を感じさせない園芸は育てる目的・意欲を駆り立てる手法の一つであり地域緑化推進の一助としても理に合った事業と感じました。



## 「やってみん掲示板」

あわくら会館 (18票)



村民が生きていくためのつながりをサポート

## 「やってみん掲示板」

あわくら会館

**おねらい**

SNSで簡単に投稿がされる情報に他人とつながるようになったが、友だちや知り合いなど限定しづらい。深いつながりがない村民同士が共通の興味や関心などをつなぐ機会を創出することを目指す。活動の可能性を広げる。

**■内 容**

村民や村内就労者などが自由に利用できる、「イベントやります」「一緒にやりませんか?」「情報ありませんか?」をテーマに投稿する。投稿を見た村民は、村でコメントし、掲示板内で交流しながら、イベントや活動が実現していく。

**■やってみんストーリー**

「ためき園をキレイに!」  
村の入り口にあるアネ園をキレイにする活動。同じ思いの仲間が集まり、楽しく達成感を共有し、新たなつながりができた。

「ミニ四駆あわくらカップ」  
ミニ四駆サークルが大会を開催。3歳から5歳の子どもが参加。村外からも参加があり、多世代・地域でのつながりができた。

**■あわくら会館の役割**

あわくら会館は人と人をつなぐ役割として、掲示板の投稿をコーディネートするほか、コメントがあった際の連絡役を担っている。アナログな掲示板をフェイスブック等がデジタル媒体を活用して拡散している。

**■村ならではのポイント**

- 多様な趣味や興味を持つメンバーが増えている。（ネタがたぐさ）
- ずっと住んでいる人と1週間者のつながり機会がまちづくりに不可欠。

生産者支援しむ 農業公社

### 投票理由

- SNSでつながる現代において、アナログな掲示板でやりとりする逆転の発想が素晴らしいと思いました。手書きのあたたかさや付箋でのコメント、村民との横のつながりなど、まさに人と人をつなぐテーマにあって、村民だけでなく、その掲示板をFacebookなどを活用し、拡散して村おこしになっているところもよく考えられていると思いました。
- 村民・村内就労者等、イベントや活動ができるようにあわくら会館の方が間に入り、いろんな方と交流がひろがっていることがいいと思いました。
- 村の人のつながりづくりをアナログなところとデジタルを組み合わせ、うまく演出されており、人と人とのつながりづくりと地域の活性化が図られていると思いました。

## 市町村出前講座事業

### 公民館職員のための「事業計画ハンドブック」完成

公民館職員に必要なスキルの習得ができる研修を各市町村で効果的に進められるよう、昨年度、県内公民館の職員の方々4名を作成委員として委嘱し、特定非営利活動法人 岡山NPOセンター代表理事 石原達也氏の御指導・御助言をいただき、地域資源の見つけ方や、目的・目標の設定の仕方、評価の方法など、効果的な事業・講座を作る上で欠かせない内容を詳しく学ぶことができる「公民館職員のための事業計画ハンドブック」を作成し、全館に配付しました。

本年度から、このハンドブックを活用し、市町村からの要請に応じて連絡会や公民館研修会等に岡山県公民館連合会が出向いて、実態に応じた研修等を行う支援をしています。



### 令和3年度の取組

本年度は、倉敷市・早島町、吉備中央町、笠岡市の4市町で研修を実施しました(令和4年2月現在)。内容は、説明「公民館とは『目的と仕事』及び『今後の公民館に求められていること』」、演習「ハンドブックPART1『地域のことを知って、課題・取り上げたい資源をしばりこもう』」など、各市町の要望に応じています。説明・演習ともに94%の参加者が理解を深めることができたと回答し、「ハンドブックを使うことで、取り上げたい課題・資源をもとに講座を企画していく流れがより明確に分かった」「地域を知ることから、段階的に考えをまとめていくと、具体的にこんな講座ができるかなと案が出てきた」「人を巻き込んで若い世代も活動への関心を広げてもらえるよう考えていく必要がある」など、ハンドブックを使うことで、地域の課題が明確になったり、これから講座を考える際の方法が分かったりしたという感想が多く聞かれました。

市町村出前講座は、令和5年度までの3年間で全市町村で実施する予定です。単市町村での実施が難しい場合は、近隣市町村との合同実施も可能です。市町村の実態や学びたいこと、時間に応じた研修ができません。ぜひ、市町村出前講座をご活用ください。



倉敷市・早島町



吉備中央町



笠岡市



## 第33回全国公民館セミナー

令和4年1月26日(水)～28日(金)の3日間、国立オリンピック記念青少年総合センターにて開催される予定でした「第33回全国公民館セミナー」は、新型コロナウイルス感染症の情勢により、今回は全国公民館連合会公式YouTubeチャンネルにて視聴できるよう公開する「オンデマンド開催」となりました。

公開後はいつでも視聴可能で、研修資料も公開されています。ぜひ視聴・閲覧いただき、各館のさらなる振興に向け共に学びましょう。



## 「第44回全国公民館研究集会岡山県大会 兼 第44回中国・四国地区公民館研究集会岡山大会」のお知らせ

大会テーマ：「地域の『夢』を育む公民館活動」

【令和4年10月20日(木)・21日(金)開催】

岡山県で公民館研究集会が10年ぶりに開催されます。テーマに迫ったパネルディスカッションや分科会があり、岡山県と他県の実践事例発表があります。本研究集会には中国・四国地区から公民館の関係者が大勢参加します。

盛り多い大会となるよう皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

岡山県大会のチラシが見られます。



# 公民館 ひと・ひと・グループ

玉野市立図書館・中央公民館

## 「たまの地域人づくり大学『はじめてのZoom講座』」

備前ブロック



受講生・高校生と一緒に悩みながら、一生懸命取り組みました。

地域での活動に役立つ知識・技術などの学習機会を提供し、人材育成のきっかけづくりを行う「たまの地域人づくり大学」を実施しています。毎年、様々な講座を行っていますが、本年度はその一つとして初心者向けZoom講座を開催しました。

受講者が持参したスマートフォンなどの機器を使って、まずはWi-Fiの接続から。受講生は四苦八苦しながらも、ボランティアの地元の高校生に手取り足取り教えてもらいました。講座の最後にはなんとか全員がミーティングの主催までできるようになり、受講生・高校生ともに達成感に包まれました。

備中ブロック

総社市昭和公民館

## 「歴史文化探訪講座～備中兵乱の舞台を歩く～」

11月末に、講演と現地視察の2本立てで歴史講座を実施しました。地元美袋にある大渡城での視察研修では、講師から備中国の国人三村氏と毛利氏の対立の原因や山城の役割、敵の侵入を防ぐ工夫などについて説明がありました。参加者は、険しい道を上ったり、山城から眼下や遠景を見渡したりする中で、「援軍の来ない山城は兵糧攻めにあうとどうしようもないな」など当時の様子を思い浮かべながら互いに思いを語り合いました。屋外での活動は、コロナ禍から少し解放されたようで、皆さん充実感に満ちた笑顔で帰路に着きました。



「たどり着くまでに戦意が落ちそうだなあ！」

## 久米南町教育委員会 「未来商店街」

美作ブロック



中高生が作ったTikTok、みなさんもぜひご覧ください！メイキングムービーもYouTubeで配信しています。

中高生が中心となり、地域の団体と協力してまちを盛り上げるイベント、未来商店街。

出店やステージ企画といったイベントの代替案として、未来商店街の魅力を伝えるPR動画（TikTok）を作成しました。どこで撮るか、どういった内容にするかなど中高生自身で話し合い、撮影や編集まで自分たちの力で行いました。出来上がった7本の動画には22の地域団体、49人の応援してくれている方が出演しています。

事業開催が難しい状況ですが、若者が地域の中で生き生きとした活躍の場を見出し、人々とつながる取組を継続していきます。



# まちから むらから フォトレター

備前  
ブロック

## 瀬戸内市牛窓町公民館



### 「地域再発見ウォーキング『五色の島を巡って学ぶ～黄島貝塚～』

小学生から70代までの約30名が、色の名前がついた牛窓沖の島々を船で巡り、その内の一つ「黄島」へ上陸し、約5キロを歩きました。黄島貝塚（縄文早期）では学芸員から瀬戸内海の誕生について学びました。個人では訪れる機会が少ない島で自然や文化財に触れ、参加者は地域の素晴らしさを再発見していました。

備前  
ブロック

## 赤磐市立熊山公民館



### 「公民館講座『わんぱくアドベンチャー』

季節ごとに年4回、親子で地域の豊かな自然や風土にふれることにより、地元環境に対する豊かな感性の醸成を図り、広く地域環境に対する視点を育てることを目的に実施しています。春は野草の学習と野草のてんぐら。夏はカブトムシの捕獲と観察。秋はドングリの収集とクラフト。冬は紙飛行機クラフトと外遊び。子ども同士もすぐに仲良くなり笑顔の絶えない講座になりました。

備中  
ブロック

## 矢掛町中川公民館



### 「夏祭りミニ縁日（中高生企画）」

盆踊りなど様々な夏行事が中止や変更になる中、公民館活動に参画している中高生グループTEGO(てご)隊が立ちあがり、学習支援ボランティア活動のほかにも、「地域の子どもたちを元気にしよう!!」と「ミニ縁日」を企画運営。約100名の親子が楽しみ、この夏一番の笑顔いっぱい思い出になりました。

備中  
ブロック

## 浅口市中央公民館



### 「ボランティア育成講座」

中学生にボランティア活動の場を提供し、ボランティアを通じた主体的な学びを体験させることを目的として、本年度からボランティア育成講座を開始しました。2学期は親子参加型の天体観望会を開催し、中学生ボランティアが、その準備や当日の運営に取り組みました。

美作  
ブロック

## あわくら会館



### 「やってみんCAFE」

小中学生が12月4日に2回目のカフェ出店。教育コーディネーターの一般社団法人Nestがサポートし、メニュー開発や料金設定など子どもたちで全てを考え、準備を行いました。当日は大盛況。前回の反省も活かし、接客やお店の運営もどんどん上手くなっていました。

美作  
ブロック

## 奈義町公民館



### 「プラモデル教室・作品展」

公民館の利用率が低いミドル世代の方を対象に始まった「プラモデル教室」と、その講師2名による作品展です。このサブカルチャーによる教室と作品展では、狙い通りのメンバーや来場者が訪れ、公民館としても新たなジャンルの開拓が出来ました！